

～男女共同参画社会を目指して、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けて～

# キラッと☆スマイル 八戸ナビ 13

固市民連携推進課 ☎ 43-9217

キラッと☆スマイル 八戸ナビでは、仕事と家庭生活を両立し活躍している方を紹介。

○プロフィール  
今回は、八戸学院大学の崔桓碩さん(チェウォンソク)にお話を伺いました。妻と3人の子の5人家族です。

○仕事内容について  
専門分野である保険や共済の研究をしながら、金融に関連する授業を担当しています。また、はちえぎキャンパスで韓国語講座の講師もしています。

○子育てやPTA活動について  
普段は、次男の幼稚園への送迎などを行っています。また、長男が通う小学校では交通安全委員会に所属しています。他のメンバーはほぼ女性で最初は戸惑いもありましたが、子どもたちの安全な登下校のためにがんばって活動しています。

○仕事と子育ての両立について  
両立は「時間との戦い」で、優先順位をつけることも必要です。



チェウォンソク 崔桓碩さん(左)とご家族 (八戸学院大学 地域経営学部)

謝の気持ちを表したいです。

○メッセージ  
子どもにとって母親は、代わりのきかない絶対的な存在だと思います。父親に比べて子育てや家事の負担がかかりがちですが、日本でも韓国でも、特に若い世代は、協力し合う夫婦が多いと感じています。協力し合うためにはお互いに感謝の気持ちを表すことが大切だと思いますし、私も世の中のお母さんに感謝の気持ちを表したいです。

例えば論文の提出期限が迫る時期に子どもが風邪を引いた場合、少しでも期限内に余裕があれば自分が面倒を見ますが、難しい妻にも相談しながら、どちらもおろそかにならないようにしています。苦勞も多いですが、仕事も子育てもでき、子どもの成長をそばで見られるのは幸せなことです。

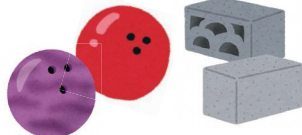
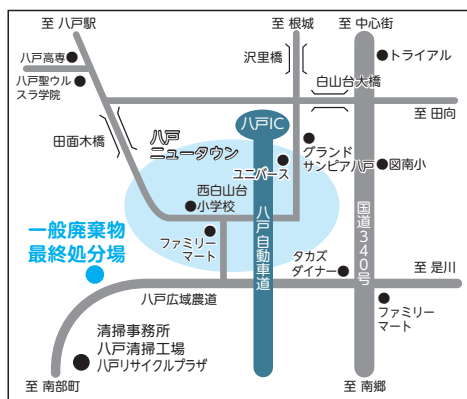
最終処分場ってどんなイメージがありますか？  
ダンプカーなどのトラックで大量のごみが捨てられる場所というイメージですか？  
確かに最終処分場に捨てられるごみのほとんどは、ごみを燃やした後に出る焼却残渣や細かく砕かれた燃やせないごみですが、それだけではありません。  
実は家庭の日常生活で排出されたごみの中にも搬入できるものがあります。  
例えばガーデニング・家庭菜園で出た土やレンガ、家庭で使わなくなった漬物石やボウリングの玉、物干し台のコンクリートなどです。  
最終処分場に自分で持ち込むと、費用は10kgごとに50円で処分できます。  
ただし持ってきて良いのは家庭から出た不燃ごみだけで、

## もっと気軽に最終処分場!?

知ってトクするごみ知識

固清掃事務所 ☎ 27-4511

事業活動に伴って出たものは受け付けできません。事前予約は不要ですので、お気軽にお越しください！



【一般廃棄物最終処分場】  
受付時間  
9時～12時、13時～16時  
固指字湯ノ沢2-6  
☎ 27-4511(清掃事務所内)  
☎ 12/31～1/3・土・日・祝日

ホームページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp>  
携帯電話向けページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp/m/>  
Twitter <https://twitter.com/HachinoheCity>  
Facebook <http://www.facebook.com/HachinoheCity>



「広報」「市議会だより」が閲覧可!